

維持透析患者の心臓弁膜症手術前後における血漿再充填速度 (Plasma refilling rate :PRR) についての検討

東京女子医科大学東医療センター臨床工学部¹⁾ 同内科²⁾ 同泌尿器科³⁾ 同心臓血管外科⁴⁾

廣瀬沙優里¹⁾、芝田正道¹⁾、小川哲也²⁾、中山友子、¹⁾近藤敦子¹⁾、檜垣洋平¹⁾、豊見山真智子¹⁾、森谷紘旭¹⁾、松本健一¹⁾、今泉力也¹⁾、樋口千恵子²⁾、中澤速和³⁾、中野清治^{1) 4)}

(背景) 維持透析患者の心臓弁膜症手術前後における血漿再充填速度 (Plasma refilling rate :PRR) についての研究報告は少ない。

(目的) 維持透析患者の心臓弁膜症手術前後における PRR の推移について比較する。

(対象) 東京女子医科大学東医療センターにおいて心臓弁膜症の手術を実施した 9 症例の維持透析患者。平均年齢 70.2±5.2 歳、平均透析歴 9.1±8.0 年。

(方法) 術前、術後翌日、術後 5～7 日 (平均 5.9±1.1 日) の透析実施時に CLIT-LINE モニター (JMS 社) を装着し、治療前後の結果から PLR を算出した。統計学的解析には ANOVA (一元配置分散分析法) を用い有意水準を 0.05 とした。

(結果) 術前、術後翌日、術後 5～7 日の PLR (mean±sd) はそれぞれ 8.3±3.1, 4.0±1.1, 7.3±1.7ml/min であり、術前に比べ術後翌日では有意に低値を示し (p=0.0008)、術前と術後 5～7 日では差は無かった (p=0.5989)。

(結論) 維持透析患者の心臓弁膜症手術直後の PLR 有意に低下するが、術後 5～7 日程度で術前レベルに戻ってくる。